

討論 原案賛成

我妻 弘国 議員

私は、職員の給与カットには人事院勧告とは違っています、予算案が組めない人為的な原因にあることから反対でした。

しかし、一般質問のやりとりから、町の財政状況は破綻一步手前の危機的状況にあると理解しました。

この6月に政府は、民間企業と同じく「破綻法制」を導入し、破綻した自治体の首長、管理職、職員、住民に債務返済をさせる意見も出ているところです。

他の自治体を見ますと、職員の10割の給与カットがされているところもあり、執行部は苦渋の選択をしたと判断し、今年一年の職員給与3割カット案に賛成するところでありませぬ。

白内恵美子 議員

町の財政は、今後5年間で40億円を超える財源不足が見込まれ、まさに危機的状況です。

職員の給料は生活給であり、本来手をつけるべきではありません。本当に胸の痛む思いです。

しかし、今は非常事態です。財政調整基金をゼロにすれば災害や想定外の事態に対応できません。第一に考えねばならないのは、住民の生活です。

聖域なき歳出削減は、小・中学校の教育費も対象となり、子ども達の教育環境にまで及んでいます。また、非常勤特別職の報酬カットも可決されました。

柴田町の非常事態を、全職員と議員、住民とが痛みを分け合って乗り切ろうではありませんか。

大坂 三男 議員

職員の給与カットは、本来あつてはならないこととあります。

しかし、18年度当初予算編成にあたり、歳入不足が明確となり、年度途中に発生する児童手当や各種特別会計への繰出金等の補正財源が不足することが確実であります。

一般職の給与3割カットを職員の方々にお願いするにあたり、町長は集

水戸 義裕 議員

会や懇談会の場を何回か設け、理解を得るための努力はしており、ある程度の合意は得られているものと判断します。

本町が合併してもしなくても、行財政改革を断行しなければ立ち行かなくなるのが明白な状況下で、給与カットはやむを得ないことと判断し、原案に賛成いたします。

町は財政が危機的状況にあり非常事態です。あらゆる歳出削減策が必要な時であり講じられています。町四役の報酬削減はもとより、町民にも補助金カットなど痛みをお願いします。

財政調整基金も取り崩し年度内に突然支出するような事態が起きたら、対応できないことが懸念されます。職員給与削減案は、おそらく納得のいかないことであろうとは容易に推測できます。

しかし、それを受け入れていただいた職員の気持ちに真しに受け止め、まったく具体性に欠ける論法で、町の行方を描けない修正案は撤回することを望み、総力を上げて危機を乗り切ろうとする原案に賛成いたします。

杉本 五郎 議員

職員の給与をカットすることにもろ手を挙げて賛成する人は一人もいません。ただ、財政の厳しい折、1年間だけの我慢を願う提案です。

こうした提案の背景には、行財政改革の進行が遅いからではないかとの意見もありますが、行財政改革は急激に行うと、角をためて牛を殺す結果になりかねません。

それだけに気長に行うべきもので、この4年間、少しずつではあるが職員数の削減や組織の改編、役職員の報酬カットなどでできる限りの努力が認められます。

また、課長会議や全体会議などを重ね、職員の理解にも努めています。従って本案は原案どおり可決すべきと思います。



町職員給与削減認めず

修正案可決

四役給与は20%カット

町長、助役、収入役、教育長及び 職員の給与の特例に関する条例

18年度予算編成に当り、危機的な財政状況から、町長、助役、収入役及び教育長は給料の20割、管理職の職員は5割、一般職の職員は3割を、4月から向こう1年間減額して支給する給与の特例に関する条例が提案されました。
しかし、職員に関する条項を削除する修正案が議員提案でされ、質疑・討論の後、賛成多数で修正案を可決しました。

原案提案理由

国の三位一体改革により国からの交付金、補助金が大幅に削減され、町の借金返済がピークを迎える中で、新年度予算を組むことになりました。

この財政危機を乗り越えるため今回、町長、助役、収入役及び教育長の給与を月額20割削減し、また、やむを得ず緊急事態として職員の給与を月額3割、さらに課長・参事等の管理職は2割上積みして月額5割削減するものであります。

職員の給与削減、いわゆる給与カットは、本町に職員団体がいないため、職員と全体集会3回、各

修正案提案理由

職員の給与は、基本的には、いわゆる生活給であり、削減は職員及びその家族の日常生活に大きな影響を及ぼすのみならず、職員の士気を低下させることとなる。

よって、ただ単に財政難という理由で軽々に職員の給与を削減することは、著しく妥当性を欠くものと考え、町長提案の条例から、職員給与の特例の条項を削除する修正案を提出するものであります。

質疑 危機的な情勢をどう受け止めているか。

答弁 財政危機に対しては、同じ認識を持っていきます。財政難は今後も続くと思っております。

質疑 町長が血を吐くくらいで職員に納得してもらった努力をどう思うか。生活費を少し削って我慢してもらったかどうか。

答弁 町長の努力の気持ちはよくわかりますが、子育て中の職員は生活費

がかかり大変です。毎月引かれるものも多く、生活費を切り詰めるのが実態です。

質疑 危機的状況を切り抜ける方策は。

答弁 まだまだ節減できる事務、事業は他にあると思っております。今回の職員から出てきた多くの提言、意見を検索すれば、歳出節減のアイデアは多々出てくると思います。
質疑 町民も賃金カットやリストラされている。役場も同じだと思えます。

答弁 広く一般町民の生活実態を把握している訳ではないので、職員の給与との比較は困難です。しかし、地方公務員の給与水準を示すラスパイレス指数から見ると、本町職員は類似団体よりむしろ低く、非難を受けるほどではありません。

質疑 危機を招いた議員の責任をどう考えるか。

答弁 議員にも応分の責任があり、議員報酬カット5割を決めております。